契約検査課

質 疑 ・ 回 答 書

平成 26年 5月 28日

住　　所	
商号又は名称	
代表者職氏名	
送付担当者	
電話番号	

件 名　富田林市立小学校・中学校トイレ改修工事

	質 疑 事 項	回 答
1	各学校共通　　床タイル・下地撤去とあるが、防水層改修は無しで良いですか。	防水層については復旧する必要はありません。
2	各学校共通　　学校内設備の配置詳細が無いので階段不明です。動線経路はどこですか。	別紙図面で各階平面図を作成しました。 動線経路については、児童・生徒・教職員等学校関係者の動線を考慮した計画とし、各学校との協議により決定するものとします。
3	伏山台小　A－05図天井フレキ撤去とあるが、アスベスト含有は無しと考えて良いですか。	アスベスト含有成形板です。
4	伏山台小　A－08　D－1図床タイル・下地撤去厚が不明です。モルタル塗t＝28新設なら撤去厚70必要と思うが、既設防水層に影響ないのか。防水層への影響の有無、また既設厚t＝70とは何があるのか詳細指示願います。	既設床は タイル(モルタル下地共)t30+押えモルタルt20+アスファルト防水t5+ 均しモルタルt15の計70mmです。均しモルタルまで撤去(防水層共) 防水層の復旧は無しです。
5	伏山台小　A－09図に木製家具現況のままとあるが、何故現況のままなのでしょうか。建具撤去・新設できると判断した上での図示と思うが設計図書の意図が分かりません。見解願います	以前に同様の改修を別教室で行っており、木製家具を動かさずに改修しています。 その、家具はそのままで廊下面より腰壁撤去の上、SP設置、取合シーリングとしてます。
6	伏山台小　A－09図建具表では新規建具後付工法とあるが、既設建具の高さ寸法のほうが小さいです。後付できますか。また、既存腰壁部の下枠撤去・新設とあるが家具存置のまま廊下側からの施工で可能ですか。教室内床補修はないのですか。	既存建具H寸法1870が間違いで正しくはH寸法2700です。家具存置は上記5のとおりです。教室内床補修はなしです。

富田林市 総務部　契約検査課　TEL:0721－25－1000(内線:476, 477)E－mail:nyuusatsu@city.tondabayashi.osaka.jp

契約検査課

質 疑 ・ 回 答 書

平成 26年 5月 28日

住　　所	
商号又は名称	
代表者職氏名	
送付担当者	
電話番号	

件 名　富田林市立小学校・中学校トイレ改修工事

	質　疑　事　項	回　　答
1	喜志西小　A－08　D－1図既設床厚90(水上210)とあるが、新設はモルタルt＝28で140とあります。どうすればその寸法になりますか。タイル撤去必要なのか。撤去厚、既設床各層の仕様及び厚さ、防水層への影響の有無含めて指示願います。	既設床はタイル(モルタル下地共)t30+押えコンt40+アスファルト防水t5+均しモルタルt15の計90mm(水下)です。廊下入口部は嵩上げが大きく210mmあります。タイル撤去は必要です。廊下FLに合うまでの撤去とし、新設は最低30mm(新設寸法が大きいところは軽コン打設)で高さ調整とします。
2	金剛中　A－05、06図天井フレキ撤去とあるが、アスベスト含有は無しと考えて良いですか。	アスベスト含有成形板です。
3	金剛中　A－05, 06図　▲CUTの位置不明です。	コンクリート撤去部でコンクリートカッター、その位置から100mm程度でモルタルカッターとします。
4	金剛中　A－10　D－1図既設床厚120(80)とあるが、モルタルt＝28新設して1F110厚、2F140厚になりますか。(　)寸法は何ですか。撤去厚、既設床各層の仕様及び厚さ、防水層への影響の有無含めて指示願います。	120は2階寸法で(80)は1階寸法です。内訳はタイル(モルタル下地共)t30+押えコンt60+アスファルト防水t10+均しモルタルt20の計120mm(水下)です。1階は防水+均しコンが無しです。防水層への影響なし(また復旧不要です)
5		
6		

富田林市 総務部　契約検査課　TEL:0721－25－1000(内線:476, 477)E－mail:nyuusatsu@city.tondabayashi.osaka.jp